2026/11/11 17:30 更新



タミヤGPワールドチャンピオン決定戦2026

2026年11月21日(土)　～　22日(日)　ツインメッセ静岡

2026/10/15　12:00　公開
10/20　8:30　追記　→「P.10 ★モーター、ESC関連」
11/11　17:30　追記　→「P.11 ★アシスタントについて」
→「P.12 ★レース方法」

参加選手向けごあんない
DRIVERS'FILE

★こちらの案内には、今大会に参加する上での重要事項が記載されています。
当日までに内容をよくお読みの上ご参加ください。
★内容につきましては公開後、更新・修正される場合がございます。

TAMIYA

はじめに

この度は「タミヤGPワールドチャンピオン決定戦2026」への出場おめでとうございます。
今大会では、今夏の「第35回タミヤGP全日本選手権」の各地方大会の激闘を勝ち抜いた総勢105名（＋11/7(土)開催予定の西日本大会代表5名）の国内代表選手に加え、海外より8名の選手がタミヤGPワールドチャンピオンを目指し参加する予定です。
大会を通じて国内外のRCファンとの親交を深め、参加選手にとって心に残るイベントとなれば幸いです。各大会で代表権を獲得できなかった選手の想いを背負い、そして代表選手としてのプライドを持ってレースに臨み、栄えあるファイナルレースの舞台で思う存分実力を発揮してください！

タミヤグランプリ係

予選大会

●第35回タミヤグランプリ全日本選手権 ： 日本国内11会場13大会にて代表権を選出（各クラス22名×5クラス）：110名
（九州、広島、関西、西日本1、東日本1、東京、福井、愛知、岩手、北海道、東日本2、長野、西日本2）

●タミヤアジアカップ ： ８地域にて予選大会をおこない、決勝大会をタイにて開催：5名
（タイ、香港、マカオ、インドネシア、フィリピン、韓国、台湾、マレーシア）

●タミヤチャンピオンシップシリーズ ： アメリカ合衆国各地で代表選出大会を開催：3名

INDEX

P. 01 …… はじめに
02-05 …… 大会スケジュール
06 …… 計測について【重要】
07-08 …… 各クラスレギュレーション
09 …… 大会車輌規則
10-11 …… 大会規則
12-13 …… レース方法
14-15 …… レースの流れ
16-17 …… コントロールタイヤについて
18-20 …… その他注意事項

◆参加者は自己の責任において健康に十分気をつけてください。特に大会当日、身体の不調を感じたら参加を取りやめてください。
大会参加中に異常を感じた場合は絶対に無理をせず、すみやかに参加を中止してください。
◆イベント中の安全管理には十分注意致しますが、万が一のケガや事故、体調不良に備え、健康保険証またはマイナ保険証等、受診資格を確認できるものをご持参ください。（ご自身で管理ください）
◆イベント中の事故やケガについては、主催者に重大な過失がある場合を除き、責任を負いかねます。十分安全に配慮してご参加ください。
◆イベント中の模様は静止画、動画などで撮影され、印刷物やホームページなど、タミヤが関係する各メディアで公開することがあります。
予めご了承の上、ご参加ください。（会場にてLIVE配信を行う場合がございます）
◆会場設備や備品を破損した場合は、状況に応じて修理費等をご負担いただく場合があります。
◆車両・送信機・バッテリー等貴重品の管理は参加者ご自身でお願いいたします。破損・紛失について主催者は責任を負いかねます。
◆安全なイベント運営の為、タミヤスタッフの指示には必ず従ってください。指示に従っていただけない場合や、他の参加者、一般来場者への迷惑行為、安全管理上問題があると主催者が判断した場合は、大会エリアからの退場または大会への参加をお断りすることがあります。
予めご了承ください。

大会スケジュール

●今大会はスペシャルイベントのため、イベントの進行が通常のタミヤグランプリとは異なります。以下大会スケジュールを必ずご確認の上、ご参加ください。●当日の進行状況によっては前後に変動する可能性もございます。予めご了承ください。

●11月20日(金)　大会前日

※選手用に駐車場の用意はございません。近隣駐車場をご利用ください。付近の道路は駐車禁止となっています。
●事前搬入詳細につきましては、P.19「事前搬入について」をご覧ください。

13:05　入場受付開始

●参加選手、アシスタント各1名の入場が可能です（入口にてチェックあり）。それ以外の方は入場できません。

13:15　ピットエリアオープン

●ピットの座席は予め決められております。会場内では選手は名札とゼッケン、アシスタントはパスを着用ください。
●ピットの展開、事前車検、タイヤの購入・追加接着が可能です。
●大会エリア以外はタミヤフェアの設営が行われている為、立ち入り禁止です。

13:30　タイヤ配布・追加接着開始　（ピットに置いてあるタイヤ保管用白箱をお持ちください）

●クラス毎タイヤ配布時間が決まっています。※ゼッケン・名札の着用、時間厳守でお願いします。

- **XM Championship　13:30 ~ 13:45　（追加接着作業終了14:10まで）**
- **Jr. Championship　14:15 ~ 14:30　（追加接着作業終了14:45まで）**
- **St Championship　14:50 ~ 15:05　（追加接着作業終了15:20まで）**
- **GT Championship　15:25 ~ 15:40　（追加接着作業終了15:55まで）**
- **TRF Championship　16:00 ~ 16:15　（追加接着作業終了16:30まで）**

●タイヤ配布の際に、タイヤの購入セット数（1人最大3セット迄）をスタッフに申し出ください。
●配布の際、購入セット数分のタイヤ引換券をお渡しします。翌日以降、タイヤ引換券を持参の上「北館販売コーナー」にてタイヤ代金をお支払いください（各種クレジットカード、電子マネー・キャッシュレス決済がご利用可能）。
【タイヤ代金支払い期限：11/21(土)まで】
●タイヤ受け取り後は追加接着の作業が可能です。追加接着場の席数が限られております。速やかに追加接着作業を行い、終了後は速やかに退席をお願いいたします。
●その他、詳細はP.16「コントロールタイヤについて」に記載しております。必ずご確認ください。

13:30　事前車検・モーターKV値の測定開始　※タイヤの配布と同時進行で実施します。

●クラス毎列を分けて事前車検を実施します。走行用マシン（スペアシャーシがある方はスペアシャーシ）をお持ちください。タイヤ配布の時間がクラス毎決まっておりますので、合間の時間にお越しください。
●事前車検を受けたマシンにはチェックシール、マーキングが施されます。チェックシール、マーキングがないマシンは予選以降走行できません。
●事前車検詳細につきましてはP.9「大会車両規則」をご覧ください。

16:40　会場クローズ（最終退館）

●最終退館時間です。速やかにご退出ください。

名札、（アシスタントの方はアシスタントパス）は翌日の選手入場時に必要です。お持ち帰りされる方は翌日お忘れのないようご注意ください。（翌日の開場前「事前ピット展開」の時間にピット内に取りに入ることは可能です。心配のある方はピット自席に置いて帰ることをお勧めします）

●11月21日(土)　大会1日目

07:30　事前ピット展開(07:20頃より受付開始予定)

●参加選手、アシスタント各1名の入場が可能です。(入口にてチェックあり)それ以外の方は入場できません。
●機材の搬入、ピットの展開のみ可能です。※マシンへの作業はできません。

07:55　一時ピットクローズ　・・・退館の際は名札(アシスタントの方はピットパス)を必ず着用ください。

入場点呼の際に必要です。

08:15　選手/アシスタント集合時間

●北館正面入口にて集合。点呼を行います。(クラス毎整列予定)※タミヤフェアの入場待機列とは異なります。
●名札(アシスタントの方はピットパス)着用必須です。
※前日、事前ピット展開されていない方の名札は点呼の際にお渡しします。

08:30　選手入場

●北館正面入口よりクラス毎2列で入場(入場順: 海外選手 → Jr. → XM → St → GT → TRF)
●選手・アシスタント以外の方はピットエリアには入れません。
※タミヤフェアの会場オープン前になりますので、大会エリア以外への立ち入りはご遠慮ください。
※ご家族に限り観覧席への立ち入りは可能です。それ以外の方は一般来場者同様、会場オープン後に入場してください。

08:45　タイヤ配布/購入　事前車検【土曜日からの参加選手】

●未配布の選手のみ対応。タイヤ配布の際はピットにある配布済みのタイヤ保管用の白箱をお持ちください。
●事前車検はクラス毎列を分けて実施します。
※事前車検を終えていない選手はコントロールプラクティス以降、走行できません。ご注意ください。

09:00　タミヤフェアOPEN

●北館販売コーナーにてタイヤ代金の支払いが可能です。【支払い期限:11/21(土)会場クローズ迄】
購入セット分の「タイヤ引換券」を忘れずにお持ちください。

09:45　大会開会式/集合写真撮影(全体→各クラス毎)

●ドライバーは全員参加でお願いします。ゼッケンと名札の着用必須です。使用するボディを持参ください。
●ドライバーは配布する【靴カバー】を必ず着用の上、お集まりください。足元が滑りやすくなりますので転倒には十分ご注意ください。
●アシスタントはコース内には入れません。観覧席、コースサイドよりご覧ください。
●開会式では、競技説明、コーション挨拶、選手紹介・宣誓(国内選手・海外選手1名ずつ)を行います。
終了後、全体集合写真撮影 →クラス毎撮影 (XM → Jr. → St → GT → TRF)

10:20　練習走行1・2回目　【第1レース呼出:1回目10:20～(走行開始10:30)　2回目11:20～(走行開始11:30)】

●以降コントロールタイヤでの走行になります。(選手個人が用意したタイヤを使用することはできません)
●計測の確認も行いますので、トランスポンダーは必ず搭載して走行してください。
●再車検はありません。※練習走行の詳細については、 P.12「レース方法」をご確認ください。
●走行後はタイヤの取り外しを行い、コースマーシャルをおこなってください。コースマーシャルはドライバーか、該当ドライバーのアシスタントのどちらかが担当してください。
(第1レースの選手は第3レースでのコースマーシャル担当です)
※第1レースのコースマーシャルは「TRF Championshipクラス 第9レース」の選手が担当となります。

12:20　コントロールプラクティス　【第1レース呼出:12:20(走行開始12:30)】

●予選と同様の形式にて進行します。MYLAPS RC4 Proによるタイム計測を実施。(簡易計測装置等の使用はできません)
●練習走行同様、走行後は担当レースのコースマーシャルを行ってください。
※第1レースのコースマーシャルは「TRF Championshipクラス 第9レース」の選手が担当となります。
●コントロールプラクティスの結果で予選ヒート走行組の組み替えを実施します。
●コントロールプラクティスの結果確定、予選の組み替えが公開されたクラスより順次ゼッケンを交換します。
※コントロールプラクティスについての詳細は、P.12「レース方法」をご確認ください。

13:45　予選第1ヒート　【第1レース呼出:13:45(走行開始13:55~)】

●MYLAPS RC4 Proによるタイム計測を実施します。(簡易計測装置等の使用はできません)
●走行後は担当レースのコースマーシャルを行ってください。
※第1レースのコースマーシャルは「TRF Championshipクラス 第9レース」の選手が担当となります。組み替えを実施していますのでご注意ください。
※予選についての詳細は、P.12「レース方法」をご確認ください。

15:20　予選第2ヒート　【第1レース呼出:15:20(走行開始15:30)】

●予選第1ヒート同様に進行します。
●走行後にゼッケンの回収を行います。
●予選第2ヒートまでの結果順で走行組の組み替えを行います。翌日の練習走行よりそちらの組み合わせで走行します。

16:40　予選第2ヒート走行終了

17:00　タミヤフェア会場クローズ

●速やかにご退出ください。
●名札は翌日入場の際に必要です。
●退館時間までにタイヤ代金のお支払いをお願いします。(北館販売コーナー)

名札、(アシスタントの方はピットパス)は翌日の選手入場時に必要です。お忘れのないようご注意ください。
(翌日は入場前にピットエリアへ入ることはできません。ご注意ください)

●11月22日(日)　大会2日目

08:15　選手/アシスタント集合時間

●北館正面入口にて集合。点呼を行います。(クラス毎整列予定)※タミヤフェアの入場待機列とは異なります
●名札(アシスタントの方はピットパス)着用必須です。

08:30　選手入場　ピットスペースオープン

●北館正面入口よりクラス毎2列で入場(入場順: 海外選手 → Jr. → XM → St → GT → TRF)
●選手・アシスタント以外の方はピットエリアには入れません。
※タミヤフェアの会場オープン前になりますので、大会エリア以外への立ち入りはご遠慮ください。
※ご家族に限り観覧席への立ち入りは可能です。それ以外の方は一般来場者同様、会場オープン後に入場してください。

08:50　練習走行3回目　【第1レース呼出:8:50(走行開始9:00)】

●予選3回目の組み合わせでの走行になります。
●再車検はありません。※練習走行の詳細については、 P.12「レース方法」をご確認ください。
●走行後はタイヤの取り外しを行い、コースマーシャルを行ってください。コースマーシャルはドライバーか、該当ドライバーのアシスタントのどちらかが担当してください。
(第1レースの選手は第3レースでのコースマーシャル担当になります)
※第1レースのコースマーシャルは「TRF Championshipクラス 第9レース」の選手が担当となります。

09:45　予選第3(最終)ヒート　【第1レース呼出:9:45(走行開始9:55)】

●MYLAPS RC4 Proによるタイム計測を実施します。(簡易計測装置等の使用はできません)
●走行後は担当レースのコースマーシャルを行ってください。
※第1レースのコースマーシャルは「TRF Championshipクラス 第9レース」の選手が担当となります。組み替えを実施していますのでご注意ください。
※予選についての詳細は、P.13「レース方法②」をご確認ください。

11:02　予選終了/決勝組み合わせ発表

●再車検が終了・結果確定したクラスから決勝組み合わせを行います。
●決勝Aメインは各クラス12名です。※Aメインの方はゼッケンの交換を行います。
●決勝Aメイン出場者のみ、4セット目のタイヤを購入できます。購入方法はP.17「コントロールタイヤについて②」をご確認ください。

11:20　決勝Aメイン1回目　【XM Championship Aメイン呼出:11:20(走行開始11:30)】

●全クラス事前車検を行います。
●決勝レースについての詳細は、P.13「レース方法②」をご確認ください。

12:20　決勝Bメイン→決勝Aメイン2回目　【XM Championship Bメイン呼出:12:20(走行開始12:30)】

●全クラスの決勝Bメインを行った後、決勝Aメイン(2回目)を行います。
●決勝レースについての詳細は、P.13「レース方法②」をご確認ください。

14:00　決勝Aメイン3回目　【XM Championship Aメイン呼出:14:00(走行開始14:10)】

●決勝レースについての詳細は、P.13「レース方法②」をご確認ください。
●レンタルポンダーを使用している方はレース終了後、速やかにご返却ください。

15:15　表彰式 / タミヤワールドチャンピオン登壇

●各クラスAメイン出場者・Bメイン優勝者に賞典がございます。マシンをご用意ください。
●優勝者5名には、タミヤワールドチャンピオンの証「クリスタルトロフィー」が贈られます。

15:45　解散 / 宅急便受付　※16:00会場クローズ(会場内機材撤収作業が始まります)

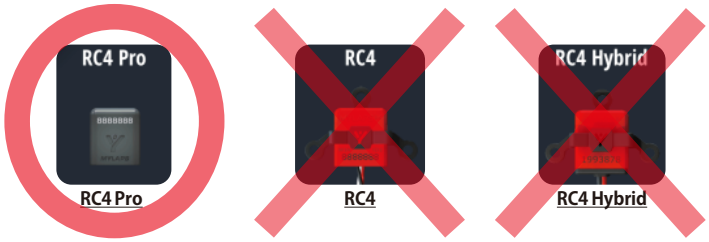
●会場内お忘れ物がないようご注意ください。
●RC機器等をご自宅へ返送される方のお荷物をお預かりします。(着払い伝票での配送に限ります。その他ご自身で用意する往復配送サービス等はご利用できません。予めご了承ください)

計測について【重要】　※必ずご確認ください。

●今大会では「MYLAPS RC4Proトランスポンダー」(以下「RC4Pro」)を使用してRCレースのタイム計測を行います。RC4Proをご自身でお持ちの方はそちらも使用できます。お持ちでない方はタミヤよりレンタル(無料)が必要となります。ご自身のトランスポンダー、レンタルポンダー問わず、下記の注意事項不備での計測漏れに関しては、救済できない可能性があります。予めご了承ください。

★ご自身所持 RC4Proトランスポンダー使用時の注意事項

★使用可能トランスポンダー



●タミヤオリジナルのRC計測システムを使用している為、使用可能トランスポンダーは「RC4Pro」のみです。その他のトランスポンダーは使用できません。(RC4Proをお持ちでない方はレンタルポンダーをご利用ください)

●RC4Pro本体取り付け位置から受信器までコードの長さが足りない場合、ご自身にて延長コードを用意の上、取り付けてください。**※延長コードでの延長は1本までにしてください。2本以上延長した場合、正しく計測がされない可能性があります。ご注意ください。**

●本大会以前にタミヤ主催レースにてご自身のトランスポンダーの登録がされている方は、そちらが使用可能です。

●ご家族含む、他の選手に登録済みのトランスポンダーは使用できません。またご家族含め、他選手とのトランスポンダーの貸し借りは絶対におやめください。

★レンタルトランスポンダー使用時の注意事項

【レンタル用 RC4 Pro 】仕様



●RC4 Proトランスポンダー本体 ＋ ボディマウント装着治具(非売品)
＋[SANWA BLACK リードハーネス 150L](延長コード)

全長：平均 24.0cm　　重量：平均 10.1g

●レンタルポンダーの箱内にはスナップピンが同梱してあります。ボディポストなどに固定が可能です。(ご自身で用意した両面テープ、タイラップなどで固定も可能です)

●レンタルポンダーの仕様を変更してマシンに取り付けすることは禁止です。
(例:ボディマウント装着治具、延長コードの取り外し)
レンタルポンダーはそのまま使用してください。

●レンタルポンダーにさらに延長コードを追加してマシンに取り付けるのはおやめください。正しく計測がされない可能性があります。

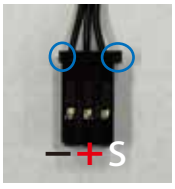
★マシンへの取り付け時の注意点

●トランスポンダーは受信器の3chまたは4ch差込口に必ず接続してください！
その他端子に接続した場合、正しく計測されない場合があります。(BAT・BIND・SSL・B/S・B・S・BUS2など)

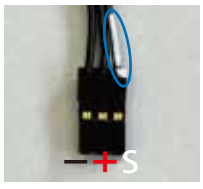
●トランスポンダーは必ず「受信器」に接続してください。トランスポンダー用の別電源の搭載および接続は禁止します。

●接続、延長の際は、必ずコネクターの向きを確認してください。(逆接に注意してください)

・RC4Pro　　:本体根元に「＋、－、S」の表記があります。コネクターの切り欠きが長い方が「S」になります。
・レンタルポンダー　:コネクター部分の信号線(黒・赤・白のうち白にあたるコード)に白色のマーキングを施してあります。



RC4Pro



レンタルポンダー


3 or 4chに接続

●RC4 Pro本体の取付位置は、シャーシのなるべく低い位置（地上高 10cm 以下）に「水平方向」になるように取り付けてください。縦向きでの取り付けはお止めください。(バッテリー、サーボ、アルミパーツの上などは、電波が干渉し正しく計測できない場合があります)

※転倒の際に路面に接触しない位置に取り付けしてください。

●本体、コードなどがシャーシの可動部分（ギヤ類、シャフト部、ステアリング系など）に接触しないようにお取り付けください。

●正しく接続すると本体真ん中のインジケーターが赤く点滅（１秒程度の間隔）をします。
※点滅の間隔が早い場合は、コード取付向きが逆の可能性がございます。

●出走前エリアに接続確認用機器を設置予定ですが、あくまで簡易的な確認用のため、レース本番での動作を保証するものではありません。予めご了承ください。



各クラスレギュレーション①

TRF Championship

最低地上高：5 mm

★シャーシ　：TRF421(X)、TRF420(X)、TB EVO.8、TA07MS(X)、TA08(R)、TA07(R)、TC-01、TB-05(R)、XV-02(RS)、TT-02各車（オンロード仕様のみ）
★ボディ　：タミヤ製ツーリングカー用ボディ【使用不可/ライキリGT、旧NSX（58634/58598/58599以外）、レガシィ、VEMAC（49489/58389/84141）、ワイドシャーシ用ボディ
★モーター/ESC　：TBLM-02S(10.5T)/TBLE-04SR
★バッテリー　：LF2200-6.6V
★最低重量　：1300g（トランスポンダー込み）
★ギヤ比　：ギヤ比表参照
★備考　：●アルミダイレクトサーボホーンの使用は認められます。●OPウイング（OPウイングと同形状のウイング）使用可能。他車用ウイング、ウイングステー使用不可●ボディ左右のミラーは必ず装着してください。（ミラー形状については車種問わず）

GT Championship

最低地上高：5 mm

★シャーシ　：TRF421(X)、TRF420(X)、TB EVO.8、TA07MS(X)、TA08(R)、TA07(R)、TC-01、TB-05(R)、XV-02(RS)、TT-02各車（オンロード仕様のみ）
★ボディ　：SUBARU BRZ R&D SPORTS、RAYBRIG NSX CONCEPT-GT、MOTUL AUTECH GT-R、MERCEDES-AMG GT3、SUBARU WRX STI NBRチャレンジ、フォード マスタングGT4、2020フォードGT Mk II 、au Tom's GRスープラ、マクラーレン セナ、アルファロメオ 155 V6 TI マルティーニ、GR ヤリス ラリー 1 ハイブリッド（標準ウイングのみ）、MOTUL AUTECH Z、ENEOS X PRIME GR Supra、1998 HONDA NSXレーシング、アウディ R8LMS 2008、ポルシェ911 GT3 R(992)【TT-02のみ(TYPE-S系不可)】、2002 メルセデス・ベンツ CLK AMG レーシングバージョン、メルセデス AMG GT3 EVO【TT-02のみ(TYPE-S系不可)】、BMW M4 GT3 EVO、1978 フォード ザクスピード カプリ ターボ【TT-02のみ(TYPE-S系不可)】
★モーター/ESC　：TBLM-02S(15.5T)/TBLE-04SR、TBLE-04S
★バッテリー　：LF2200-6.6V
★最低重量　：1300g（トランスポンダー込み）
★ギヤ比　：ギヤ比表参照
★備考　：●OPウイング（OPウイングと同形状のウイング）使用可能。他車用ウイング、ウイングステー使用不可
●ボディ左右のミラーは必ず装着してください。（ミラー形状については車種問わず）

St Championship

最低地上高：5 mm

★シャーシ　：TA08(R)、TA07(R)、TC-01、TB-05(R)、XV-02(RS)、TT-02各車（オンロード仕様のみ）
★ボディ　：トヨタ GR86、SUBARU BRZ(ZD8)、1998フォード エスコートカスタム、1992 アウディV8ツーリング、三菱 ランサーエボリューションⅤ、MAZDA3、トヨタGRスープラ、アウディ クワトロラリーA2、トヨタ セリカ GT-FOUR(ST165)、2003フォードフォーカスRSカスタム、トヨタ セリカGT-FOUR RC(ST185)、トヨタスープラ(JZA80)、ポルシェ911 GT3(992)【TT-02のみ(TYPE-S系不可)】、ポルシェ911 カレラ RSR2.8【TT-02のみ(TYPE-S系不可)】、トヨタ セリカ GT-FOUR(ST205)、アウディ90 クワトロレーシング【TT-02のみ(TYPE-S系不可)】、メルセデス・ベンツ190E 2.5-16 EVO II 1991、プジョー306 マキシ、BMW M3 SPORT EVO イェーガーマイスター1992
★モーター/ESC　：TBLM-02S(17.5T)/TBLE-04SR、TBLE-04S
★バッテリー　：LF2200-6.6V
★最低重量　：1300g（トランスポンダー込み）
★ギヤ比　：ギヤ比表参照
★備考　：OPウイング不可、キット標準ウイングのみ使用可能（取り外しは可能）

●TRF・GT・St Championship 指定ギヤ比表

TRF・GT Championship…　　St Championship…

シャーシ	スパー / ピニオン（ギヤ比）	シャーシ	スパー / ピニオン（ギヤ比）	シャーシ	スパー / ピニオン（ギヤ比）
TRF421(X)	110T / 29T（7.02）	TA07MS(X)	105T / 27T（7.19）	TC-01、TB-05(R)	63T / 22T（7.16）
TRF420（X）	116T / 30T（7.15）	TA08(R)	110T / 29T（7.02）	XV-02(RS)	70T / 25T (7.28)
TB EVO.8	66T / 23T（7.17）	TA07(R)	105T / 30T（7.17）	TT-02	70T / 25T（7.28）

●指定ギヤ比以外の組み合わせは使用できません。

各クラスレギュレーション②

Jr. Championship

最低地上高：5 mm

★シャーシ　：TT-02各車（オンロード仕様のみ）
★ボディ　：タミヤ製ツーリングカー用ボディ【使用不可/ライキリGT、旧NSX（58634/58598/58599以外）、レガシィ、VEMAC（49489/58389/84141）、ワイドシャーシ用ボディ
★モーター/ESC　：TBLM-02S(17.5T)/TBLE-04SR、TBLE-04S
★バッテリー　：LF2200-6.6V
★最低重量　：1350g（トランスポンダー込み）
★ギヤ比　：70T / 24T 指定
★備考　：OPウイング（OPウイングと同形状のウイング）使用可能。他車用ウイング、ウイングステー使用不可。

XM Championship

最低地上高：5 mm

★シャーシ　：XM-01
★ボディ　：マツダデミオ、シトロエン2CVチャールストン、VWタイプ2(T1)、VWカルマンギア、スズキスイフトスポーツ、ロータスヨーロッパスペシャル、アルピーヌA110イェーガーマイスター1973、オペルカデットGT/E、アルファロメオジュリアスプリントGTAクラブレーサー、シトロエンDS　、フィアット131アバルトラリーOLIOFIAT、VWゴルフ II GTI 16V、ミニクーパーレーシング、フォードエスコートMk. II ラリー
★モーター/ESC　：TBLM-02S(17.5T)/TBLE-04SR、TBLE-04S
★バッテリー　：LF2200-6.6V
★最低重量　：1300g（トランスポンダー込み）
★ギヤ比　：70T / 29T 指定
★備考　：シャーシカバー、前後フェンダーカバー、サーボカバーの取り付けは問いません。

各モーター最大KV値

●TBLM-02S(10.5T)：3,630kv　●TBLM-02S(15.5T)：2,500kv　●TBLM-02S(17.5T)：2,200kv

●車重規定（最低重量）での違反が多く見られます。違反車はタイム無効になりますので、今一度ご自身のマシンをよくご確認ください。
セッティング変更（ボディ変更等）により変動する場合もありますので、ご注意ください。

大会車輌規則

ワールドチャンピオン決定戦では、予選大会以上により厳密な車検が行われます。ご自身のマシンをご確認いただき、レギュレーション違反のないように注意してください。今大会では20日(金)午後、21日(土)に事前車検を行いますが、事前車検に合格しても走行後の再車検にて違反が発覚した場合、該当のレース記録抹消の対象になりますのでご注意ください。予選大会とは異なる、また追加されている規定もありますので、この「ドライバーズファイル」の内容は必ずご確認ください。ご不明な点はグランプリ係までお問い合わせください。

〈主な車輌規則など〉 こちらに掲載されていない事項につきましてはタミヤグランプリ大会規則、車輌規則の追記事項に準じます。

- 競技車、パーツはタミヤ製に限られます。各パーツは説明図に指定された以外の方法で使用することはできません。但し樹脂パーツへの軽量化目的の穴あけや削り、部品の取り外しは認められます。(「車輌規則の追記事項」に定められた加工禁止部品等は除く)また、補強などの為に他の部品や自作パーツの追加は認められません。
- カーボン製、FRP製、金属製のパーツへの加工は認められません。各ギヤパーツ(スパーギヤ、カウンターギヤ、マイタギヤ、ピニオンギヤ等のギヤ全般)への加工も一切認められません。アルミロワデッキやアルミサスマウント等で、走行による摩耗や削れを安全確保の為に修繕することは認められます。
- マシン、OPパーツは大会当日時点で日本国内で販売されている物のみ使用可能です。(国外先行販売マシン、パーツの使用は禁止です)
- 使用マシンがレギュレーションに抵触している場合、使用する選手が責任を負います。
- 予選大会時に使用していたシャーシと異なるシャーシで本大会に出場することは認められます。
- 車輌規則、説明図に沿ったパーツの交換は自由ですが、メインシャーシのみの交換は認められません。(スペアシャーシの扱いになります)
- 小型ファンなど、モーターやアンプ等の冷却を目的としたパーツを追加で取り付けることは認められません。
- 受信機用・トランスポンダー用の別電源の搭載は禁止です。(受信機へ直接接続するタイプのキャパシターも使用禁止です)
- タイヤウォーマー(タイヤを温める効果があるもの全て)類、バッテリーウォーマー(バッテリーを温める効果のあるもの全て)類の使用、会場内への持ち込みは一切禁止です。
- マシンにオモリを搭載する場合は、車種専用の物を除き簡素な形状の物を使用してください。オモリによる車輌の補強は禁止とし、疑わしい場合は、タミヤスタッフの判断で使用を禁止させていただく場合があります。
- サーボセイバーのスプリングを、追加で外周に取り付けるのは認められます(1枚迄)。但し、接着剤等でスプリング同士を固定しダイレクト仕様に改造することは禁止です。ナイロンバンド等を使用しての補強、改造はできません。
- サーボの取り付け位置は説明図に準じます。サーボステーの取り付け位置を変更することは認められません。
- TRF Championshipを除く他クラスではアルミダイレクトホーンの使用はできません。タミヤ製ハイトルクサーボセイバーを使用ください。
- TGU-01は全てのクラスで使用できません。同様の効果を発揮する他車製の製品の使用も認められません。
- ボディ・ウイングのカットラインは説明図に準じ(ホイールアーチのカットラインも含む)、改造やウイングの無塗装状態は認められません。ボディをゴム系の接着剤やグラステープ等で補強することは認められますが、ポリカーボネートを含む樹脂パーツによる補強は認められません。穴あけ加工等の軽量化も認められません。
- ボディの巻き込み防止の為にボディ、シャーシに追加部品を装着することと、ボディのたわみ防止の為、内側に押さえのパーツをマシン、ボディに追加することは認められません。
- ボディマウントの左右を連結する「ボディマウントメンバー」または「トランスポンダーホルダー」は、材質及び固定・非固定を問わず前後各1個まで装着が可能です(自作パーツの場合は軟質素材に限ります)。
- オイル封入式ギヤデフにはタミヤ製デフオイルおよびダンパーオイル、ギヤデフ用ガム、グリスが使用できます。
- ダンパーステー、アッパーデッキ等は車種をまたいでの流用、重ね付けは認められません。
- ボディマウントポストによるボディの取り付けは4ヶ所まで認められます。TRF421(X)シャーシについてリヤ上面のボディマウントを使用する際は、テールエンド側のボディマウントへOP.1604等を使用してマウントを延長することはできません。
- ボディマウントはボディの取り付け、ボディマウントメンバーの取り付け、トランスポンダーホルダーの取り付け以外の用途では使用できません。
- 20日(金)、21日(土)に事前車検を受けたマシンには、チェックシールが添付され、マーキングが施されます。(チェックシール、マーキングのないマシンではコントロールプラクティス以降は出走ができません)
- 今大会はスペアシャーシの使用も認められます。(スペアシャーシは1台まで)スペアシャーシは事前車検時にお持ちいただき車検を受けておく必要があります。(メインシャーシの事前車検終了した後から、スペアシャーシ単体の事前車検を追加で受けることはできません)スペアシャーシは同一車種系統内に限られます。(例:「TRF421X」と「TRF421」は可能。「TRF421」と「TRF420X」は認められません)
- スペアシャーシはロワデッキのみではスペアシャーシとは認められません。駆動系、サスアームが組まれていることが前提となります。
- スペアシャーシはタイヤ、ダンパー、モーター、ESC、受信機の搭載は問いません。
- ピニオンギヤは事前車検時にマーキングを施します。マーキングがないピニオンギヤは使用できません。マーキングが消えてしまった場合は車検場にて再度マーキングを施す必要があります。
- TRF421用部品「バンパーサポート(13404162)」を、TA08(R)シャーシに流用することはできません。
  樹脂製シャーシについて、「メインシャーシと前後バンパー」底面への加工及び追加物(シール等の軟質素材も含む)の搭載は禁止です。

★バッテリーについて

●バッテリーは一切無改造での使用になります。コネクターの変更、カバーの取り外し、配線部分へのハンダの流しなども認められません。
●ESCとの接続は、変換コネクターを使用するか、ESC側をT型コネクターに変更して接続してください。
●今大会ではバッテリーの適正な車検を実施するため、シュリンクチューブの使用を禁止させていただきます。カバーをしてしまっているバッテリーは事前に外しておいてください。但し、バッテリーの傷防止として両端（幅1cm以内）に保護用テープ（透明なものに限る）を貼ることは認められます。また、識別用としてマスキングテープを貼付し必要事項を記入することは認められます。（長さ5cm以内）
●ラベルに切れ込みや剥がれの痕跡があるバッテリーは使用できません。
●バッテリーウォーマー（バッテリーを温める効果のあるもの全て）の使用は禁止です。また製品箱含むケース等に入れて充電する行為は禁止させていただきます。
●他の選手のバッテリーの充電、またピットエリア以外の充電行為は禁止です。
●故意にバッテリーの温度を上下させる行為は一切禁止です。【例：パーツクリーナー等の吹きかけ、ファン等を当てながらの充電など】
●バッテリーの充電行為は危険を伴う場合があります。充電中は目を離さないよう心がけましょう。
●過度な急速充放電や異常な充電方法はバッテリーの性能劣化を招き、使用不能になる場合があります。説明書をよくお読みの上、使用する充電器の説明書に従って充電をおこなってください。※充電機器類の取り扱いには十分お気をつけください。

〈出走前のバッテリーチェック〉

●コントロールプラクティス以降、出走前全選手、バッテリー電圧チェック・バッテリー温度チェックを実施します。
●バッテリーチェックは走行マシンに搭載した状態で計測します。
電圧が7.3Vを超えた場合、及びバッテリー温度が指定バッテリーの温度より＋5℃ 以上の場合は出走できません。
※スタッフの指示に従い、空回し等で電圧を下げていただきます。
★電圧、温度チェックにて合計3回以上不合格になった場合、そのレースへの出走はできません。（DNS扱いになります）
●電圧、温度チェック通過後は、マシンを持ってピットエリアに戻ることはできません。戻った場合、電圧、温度チェックを再度計測します。

★モーター、ESC関連

※2026/10/20 8:30 追記

●改造された痕跡のあるESCやモーター等は使用できません。下記記述以外の加工は一切できません。
・バッテリーへの接続コネクターをT型（ディーンズ）コネクターへ変更。配線の交換。
・モーターへの接続コネクターをモーター付属タイプのヨーロピアンコネクターへ変更。配線の交換。
・受信機への配線、及びコネクターの加工・変更。
・スイッチへの配線の交換、長さの変更。　※スイッチの取り外し、種類の変更は認められません。
●センサーケーブルは必ずタミヤ製を使用してください。ESC同梱の品、もしくはOP.1317、OP.1318、OP.1381、OP.2100、OP.2101、OP.2102を使用してください（加工不可、ヴォラックBL2同梱品は使用不可）。
●ソフトタイプのセンサーケーブルについて、「TAMIYA」のロゴが確認できないものは使用できません。
●ブラシレスモーターのエンドベル部分のビスはしっかりと締めた上で走行してください。走行終了後の再車検時に、エンドベル部分の進角調整ダイヤルが変動する状態の場合、該当レースタイムを抹消する場合がありますのでご注意ください。
●KV値チェックを容易にする為、ESCとモーターの「直付け配線」は禁止させていただきます。

★モーターKV値チェックについて

●コントロールプラクティス、予選、決勝レースの各レース終了後に上位選手はモーターのKV値を測定いたします。
●P.8「各クラスレギュレーション」に記載されている「各モーター最大KV値」を超えてしまった場合、該当レースタイム記録抹消の対象になります。悪質な場合それ以上のペナルティとなる場合がありますのでご注意ください。

★セルフチェック項目について

●ブラシレスモーターのKV値チェッカーを選手ピット付近に用意いたしますので、事前にチェックをおこなってください。測定回数について、今大会は、上限回数を設定はしませんが、チェッカー台数には制限がありますので、一度計測したら次の方に順番をお譲りください。走行後、モーターが熱い状態では、KV値は2～3%程度上昇しますのでご注意ください。
●その他ピットエリア周辺に、「車重計」、「車高ゲージ」等を用意する予定です。各項目事前にご確認をお願いいたします。
●車重について、タイヤの個体差や摩耗による重量の変化もございますので、10～20g程度重めに調整しておくことをおすすめします。

★アシスタントについて

2026/11/11 17:30 追記

●選手1名につき1名のアシスタントが登録可能です。アシスタントは大会エリアへの入場の他、下記に記されている事項が可能です。
※登録されている選手への事項に限ります。ご家族を含む、その他の選手へのアシスタント行為は禁止です。（ご家族が「Jr. Championship」へ出場されている場合を除く）←2026/11/11 17:30追記

・選手マシンへの作業。（バッテリーの充電等を含む）　・タイヤ代金のお支払い
・出走前後の作業の補助（バッテリー電圧、温度チェック、タイヤ取り付け、タイヤ取り外しなど）
・所定位置でのマシンコースイン及びマシン回収　・担当選手代理でのコースマーシャル
・レース中のマシン修復（マシン修復は、担当するマーシャルによりアシスタント待機エリアへマシンが戻ってきた場合に可能です。）

●アシスタントは選手のご家族以外の方でも登録が可能です。但し、過去にタミヤを除く他RC関連メーカー様から、援助（物品及び金銭の提供）を受けた経歴のある個人・チームの方はアシスタントとして登録することはできません。
●上記に該当しない方でも、オフィシャル判断でアシスタント登録をご遠慮いただく場合もございます。予めご了承ください。
●アシスタント登録された方は、大会期間中「タミヤフェア2026」内にて開催される他イベントへのエントリーはできません。
●アシスタントの方は大会エリアへの入場が可能ですが、スペースの都合上、お席の用意はございません。ご自身でイス等を持参することもできません。ご了承ください。
●アシスタントの方には、「アシスタントパス」が配布されます。大会エリアへ入場する際は、こちらのパスが必要になりますので、大会エリア外に出る場合は忘れないようご注意ください。また大会エリア内でもパスは必ず着用するようにしてください。
●アシスタントパスの他人への譲渡は禁止です。パスの不正、規定違反が発覚した場合、担当する選手が責任を負いペナルティーの対象となる場合があります。

★ピットエリアについて

●各選手のピット座席は予め決まっております。（選手1名あたり 約 90cm × 60cm程度）荷物はテーブル下、または指定された荷物置き場をご利用ください（荷物は自主管理となります。会場内での盗難などの責任は負いかねます）。ピットバッグは2ケース程にまとめてご来場ください。
●参加選手1名につき、100V電源 1 口を供給いたします。充電以外の用途では使用できません。
●大会エリア（ピットエリア含む）は、名札、ゼッケン、各種パスを着用した方のみが入場できます。選手ご家族含む、各種ピットパスを着用していない方は入場できませんのでご注意ください。大会エリア外に出る場合は、名札・ゼッケン・各種ピットパスを忘れずにお持ちください。

★操縦台について

●操縦台への登壇順はスタッフが管理させていただきます。　※登壇順についてはP.12-13「レース方法①、②」をご確認ください。
●操縦台での選手1人に与えられるスペースは限られます。区切られたスペース内で操縦をおこなってください。
●操縦台での「踏み台」使用の可否につきましてはオフィシャル判断となります。踏み台を使用希望される選手は、当日オフィシャルスタッフまでご申告ください。
●踏み台は各自ご用意ください。安全確保の為、踏み台使用時に、腰の位置が操縦台手すりより上の位置になっていた場合、踏み台使用をご遠慮していただく場合もあります。手すり上端の高さはおよそ1mです。
●タイプ問わず、イヤホンなどの使用しながらの操縦はできません。
●操縦しながらの録画行為は認められます。但し、配信行為は禁止です。さらに撮影媒体はご自身で身につけるタイプのみ認められます。（撮影媒体を手すりに取り付けるなどの行為は禁止です）　※動画撮影時の注意点に関してはP.20「動画撮影時の注意点」をご確認ください。

★ハンダごての使用について

●ピットエリア前方に、ハンダごての使用テーブル及び専用100V電源を設けます。ハンダごてを使用する場合はそちらでご利用ください。
●ポータブルタイプ含め、ご自身のピットテーブルでハンダごての使用は認められません。

レース方法①

★各クラス2レース、全10レースを予定　★練習走行よりコントロールタイヤでの走行が義務となります。

★11/21(土)　練習走行1回目、2回目

●組み合わせ　：タミヤにて予めランダムに組み合わせを行います。
●登壇順　：集合順に登壇します。(ゼッケン順ではありません)
●スタート方法　：コースイン後、車両間隔をあけての、実況者合図によるスタート。
●走行時間　：２分間
●備考　・バッテリーチェック、再車検は行いません。　※その他はP.14-15「レースの流れ①、②」に沿って進行します。
・走行中トランスポンダーの計測チェックを行います。トランスポンダーは必ず装着してください。

★11/21(土)　コントロールプラクティス

2026/11/11 17:30 追記

●組み合わせ　：練習走行と同様
●登壇順　：集合順に登壇します。(ゼッケン順ではありません)　※登壇選手よりコース走行可能です。(1周程度)
実況者の合図で、予選スタート位置までマシンを移動してください。
●スタート方法　：実況者合図によるスタッガードスタート
●スタート順　：ゼッケン順
●走行時間　：3分間
●レース方式　・連続する２周のベストラップ記録　※リザルトにはベストラップ時の1周平均タイムが表記されます。
●備考　・以降、走行終了後に再車検が実施されます。(練習走行3回目を除く)　↑2026/11/11 17:30 追記

★11/21(土)　予選レース1回目、2回目

●組み合わせ　1回目：コントロールプラクティスの結果順で組み合わせを行います。
2回目：予選1回目と同様
●登壇順　1回目：ゼッケン順
2回目：予選1回目の成績順　※登壇選手よりコース走行可能です。(1周程度)
実況者の合図で、予選スタート位置までマシンを移動してください。
●スタート方法　：実況者合図によるスタッガードスタート
●スタート順　1回目：ゼッケン順
2回目：予選1回目の成績順
●走行時間　：3分間
●レース方式　：3分間のタイムレース
●予選結果集計方法　：予選3ヒートのうち、上位成績2ヒートの「合計ポイント」にて予選順位を決定。
・ポイント→【予選各ヒート順位1位】50P、【2位】49P、【3位】48P.....となります。
・獲得ポイントが同じ場合、最高ポイントを比較して順位を決定します。
・最高ポイントが同ポイントの場合、最高ポイント獲得ヒートのゴールタイムを比較し順位を決定します。
・未出走(DNS)、車検違反によるタイム抹消(DQ)の場合は最下位扱いになります。

★スタッガードスタート方式について

・実況者がゼッケンNo.を1台ずつコールします。コールされたゼッケンNo.の選手から順番にスタートします。コールのタイミングでスタートできなかった選手は、全マシンスタート後、実況者の再コールにてスタートしてください。(＋ペナルティの可能性もあります)。
・計測ライン通過後の３分間で何周したかを予選記録として扱います。選手ごとゴールのタイミングが異なります。実況者よりゴールの案内があるか、全車ゴールインのアナウンスがあるまで走行を続けてください。
・実況者は予選レース中、トップ5のマシンを中心にアナウンスします。実況者のアナウンスに耳を傾けながら走行してください。

【注意点】

走行中、後方からマシンが接近した場合は、後続車の周回タイムがご自身を上回っている(ご自身より速い)ということになります。ゴールタイムも異なる為、速やかに進路を譲ってください。ブロック行為は禁止です。(悪質な場合はペナルティの対象になります)

★11/22(日)　練習走行3回目

●組み合わせ　：予選1回目、2回目までのベストリザルトにて組み替えを実施
●登壇順　：集合順に登壇します。(ゼッケン順ではありません)
●スタート方法　：コースイン後、車両間隔をあけての、実況者合図によるスタート。
●走行時間　：２分間
●備考　・バッテリーチェック、再車検は行いません。　※その他はP.14-15「レースの流れ①、②」に沿って進行します。

レース方法②

★11/22(日)　予選レース3回目

●組み合わせ　　:練習走行3回目と同様
●登壇順　　:ゼッケン順　　※登壇選手よりコース走行可能です。(1周程度)
　実況者の合図で、予選スタート位置までマシンを移動してください。
●スタート方法　　:実況者合図によるスタッガードスタート
●スタート順　　:ゼッケン順
●走行時間　　:3分間
●レース方式　　:3分間のタイムレース

★11/22(日)　決勝レース

●組み合わせ　　:予選結果順により各クラスAメイン12名、以下Bメインでの走行
●登壇順　　:ゼッケン順　　※登壇選手よりコース走行可能です。(1周程度)
　実況者の合図で、決勝グリッド位置までマシンを移動してください。
●スタート方法　　:実況者合図＋シグナルブザーでの一斉スタート
●レース方式　　:各クラスAメイン5分間、Bメイン4分間のタイムレース
●結果集計方法(Aメイン)　:決勝3ヒートのうち、上位成績2ヒートの「合計ポイント」にて最終順位を決定
　・ポイント→【決勝各ヒート順位1位】50P、【2位】49P、【3位】48P.....となります。
　・獲得ポイントが同じ場合、最高ポイントを比較して順位を決定します。
　・最高ポイントが同ポイントの場合、最高ポイント獲得ヒートのゴールタイムを比較し順位を決定します。
　・未出走(DNS)、車検違反によるタイム抹消(DQ)の場合は最下位扱いになります。
●賞典　　:Aメイン進出者、Bメイン優勝者

★レース順　練習走行以降全てのセッションは以下のクラス順で走行します。

XM Championship → Jr. Championship → St Championship → GT Championship → TRF Championship

レースの流れ①

●呼び出しからレース終了までの流れになります。基本的な流れは全セッション共通になります。

①選手お呼び出し

●マシン、プロポ、必要な方はタイヤ装着用の工具を持って集合してください。
●お呼び出し後は速やかにバッテリーチェックにお越しください。

②バッテリー電圧、温度チェック　※練習走行時はありません

●全クラスバッテリーの電圧と温度を測定します。詳細はP.10「大会規定 バッテリーについて〈出走前のバッテリーチェック〉」をご確認ください。　●各チェックで合計3回不合格となった場合、そのレースへの出走は認められません。ご注意ください。

③コントロールタイヤ取り付け、ボディ装着

●机上に、タイヤの入った白箱が置かれております。自分のタイヤを確認しコントロールタイヤの取り付けをしてください。
●タイヤの取り付け工具は、ご自身の工具をお使い頂くことも認められます。（電動、手動問わず）
●タイヤを取り付けたまま、ピットに戻ることはできません。ご注意ください。
●タイヤの取り付け後は、ボディを装着してお進みください。

④車高チェック　全クラス最低地上高 5mm以上

●走行できる状態で車高を確認します。
●車高はメインシャーシ底面（フロント・リヤなど数箇所）を測定します。バッテリー固定用のグラステープ、ボディカットラインも含まれます。　●測定し最低地上高以下の場合、その場で調整していただき再測定します。

⑤トランスポンダーチェック

●トランスポンダーの計測確認用に簡易計測器を設置予定です。
●一度電源を入れ、正しく反応するかどうかご確認ください（ご自身の名前、代表大会名、参加クラス等が表示されます）。
反応しない場合や、表記に誤りがある場合は至急オフィシャルスタッフまでご連絡ください。
●簡易計測器の為、レース本番での動作を保証するものではありません。予めご了承ください。

⑥待機、コースイン、ドライバー登壇、走行

●オフィシャルスタッフの指示に従い待機してください。
●ドライバー、またはアシスタントがコースにマシンを置き、ドライバーは登壇してください。
※登壇順に指定がない場合、待機エリアに到着した順に待機・登壇します。
※登壇順に指定がある場合、登壇合図に間に合わないドライバーは、全者登壇した後、最後に登壇になります。
●登壇したドライバーより走行が可能です。【実況者の案内がありましたらスタート位置までマシンをご移動ください】
※練習走行は各マシン間隔をあけての一斉スタートになります。実況者の案内があるまで走行はしないでください。
●コースの逆走は禁止です。　●コントロールライン通過時はご自身のカウント音をチェックしてください。
●アシスタントの方は操縦台前を通り「アシスタント待機エリア」までお進みください。
●レース前走行不能車がいた場合、レーススケジュールの都合上、スタートディレイは1分迄とします。スタートができない場合は未出走（DNS）となります。

⑦レース走行、マシン回収

●レース中、アシスタントはコースへ入ることはできません。マシン修復が必要な場合は、マーシャルまたはオフィシャルスタッフによりマシン回収エリアに戻ってきた場合のみ認められます。修復終了後はオフィシャルスタッフの手で、コース内マシン回収した位置に戻した後スタートとなります。
●実況者より、ゴールインのコールを受けるか「全車ゴールイン」の案内があるまで走行を続けてください。
●ゴールイン後は速やかに、マシン回収エリアにて停車、マシン回収をお願いいたします。ドライバー、またはアシスタントがマシン回収をおこなってください（決勝Aメイン、上位車を除く）。

⑧タイヤ取り外し、タイヤクリーニング

●マシン回収後、再車検場にてタイヤの取り外しをおこなってください（ご自身のタイヤ回収用の白箱が置いてあります）。
●必要な方はタイヤクリーニングがこのタイミングで可能です。タイヤクリーニングをおこなった後、タイヤ回収箱にタイヤを入れスタッフまでお渡しください。
●タイヤリペア（接着修繕等）を行いたい選手は、このタイミングでリペアの申告が必要です。スタッフまで申し出ください。
●タイヤ回収後は速やかにマーシャル待機エリアへご移動ください。
●タイヤクリーニング、タイヤリペア詳細は、P.16-17「コントロールタイヤについて①、②」をご確認ください。

レースの流れ②

⑨ コースマーシャル

●マーシャルエリアにて 1 レース待機後、その次のレースでマーシャルを担当してください。
例: 第1レース出走 → 第2レース時はマーシャル待機エリアにて待機 → 第3レースにてマーシャル担当
※決勝レース時を除く　→　決勝レース時のマーシャルについては別紙タイムスケジュール詳細をご確認ください。
●マーシャルはドライバーまたは、アシスタントがおこなってください。
●マーシャル時の注意点、詳細は下記「コースマーシャルの注意事項」をご確認ください。

⑩ 終了

●マーシャル用ビブスを返却し、再車検場にてマシンを受け取った後、ピットにお戻りください。
●各クラスの再車検が終了後、結果確定し次第、リザルトが公開されます。

EX. タイヤリペア　※⑧での申告者のみ可能

●タイヤリペアについてはP.17「コントロールタイヤについて②」をご確認ください。

★ コースマーシャルの注意事項 ★

●コースマーシャルは、自身のレース終了後に待機エリアにて1レース待機した後、自身のゼッケン番号と同じ位置で行います。
※決勝レースのコースマーシャルについては、レースの進行上、特殊な順番になります。予めご了承ください。
●別紙タイムスケジュール詳細に、レース毎担当コースマーシャルが記載してあります。事前にご確認ください。
●マーシャルはドライバーまたは、アシスタントがおこなってください。マーシャルをおこなわないとペナルティの対象となる場合があります。忘れないようご注意ください。
●マーシャルはオレンジ色のビブスを着用して担当してください。マーシャル前にオフィシャルスタッフが配布します。
●ご自身のプロポは持って移動してください。再車検場に預ける事はできません（アシスタント等に預ける事は認められます）。
●コースマーシャルは、踵のある靴でおこなってください。脱げる可能性があるため、サンダル等でのマーシャルは禁止です。
●マーシャル行為でコースに進入する際は、走行中マシンの邪魔にならないように、且つ転倒・クラッシュ等には迅速に対応してください。
※原則、走行中のマシンが優先となります。無理してコースへ進入し、走行マシンに衝突する事がないようご注意ください。
●マーシャル中は、撮影・会話等はせず、レースに集中してください。
●マーシャルの位置は、大会中に調整の為、移動する場合があります。
●マーシャルによる、マシンの修復は禁止です（スイッチのON・OFFのみ認められます）。破損等で不動マシンがコース内に発生した場合は、速やかに回収し、アシスタント待機エリアのアシスタントか、オフィシャルスタッフにマシンをお渡しください（遠い場合は、各マーシャルを伝ってお戻しください）。

コントロールタイヤについて①

●今大会で使用できるタイヤは、コントロールタイヤのみとなります。ご自身で持ち込んだタイヤは使用できません。

★コントロールタイヤ　　※上限3セット内でのタイヤの組み合わせは自由です。

●TRF・GT・St・Jr. Championship　・1セット 1 台分（4個）接着済み

・1人3セットまで購入可能（決勝Aメイン進出者は4セット目まで購入可能）

＜コントロールタイヤ　1セット分内容＞

ホイール　：53471　「OP.471 ミディアムナロー 5本スポークホイール白4本（オフセット0）」
インナー　：53582　「OP.582 モールドインナーミディアムナロー・ミディアム(2個)」×2個
タイヤ　：22000　「OP.2000 ファイバーモールドレーシングタイヤ（ミディアム 24mm幅 2本）」×2個

1セット：　4,565円（税込）

●XM Championship　・1セット 1 台分（4個）接着済み

・1人3セットまで購入可能（決勝Aメイン進出者は4セット目まで購入可能）

＜コントロールタイヤ　1セット分内容＞

ホイール　：51237　「SP.1237 Mシャーシ11本スポークホイール（白）4本」
インナー　：53255　「OP.255 Mシャーシ60Dインナースポンジ・ハード（4本）」
タイヤ　：50684　「SP.684 Mシャーシ 60Dラジアルグリップタイヤ」×2個
※インナースポンジはリング状に接着しています。

1セット：　2,695円（税込）

★タイヤ配布、代金支払いについて

●大会前日の20日（金）午後、21日（土）にコントロールタイヤの配布を行います（配布場所は当日案内します）。20日（金）のタイヤ配布の時間はクラス毎時間が指定されております。配布時間はP.2「大会スケジュール」をご確認ください。
●タイヤ受け取りの際は、ピットに置かれている「タイヤ保管用の白箱」、「ドライバーの名札」、「追加接着用機材（下記参照）」を忘れずにお持ちください。
●コントロールタイヤは1人3セットまで購入可能です。配布の際、スタッフまで必要セット数を申し出ください。
●タイヤを配布する際に、「タイヤ引換券」を購入セット数分、お渡しします。支払いの際に必要になりますので無くさないようにご注意ください。
●タイヤ代金は、大会1日目【11/21（土）】会場閉館時間までに北館販売コーナーにてお支払いください。
※支払いの際は、名札をご持参ください。

★タイヤへの追加接着・保管について

●タイヤ配布後、希望者はタイヤ接着エリアにて追加接着作業を行うことができます。
●タイヤ受け取り後は、まずタイヤの状態をご確認ください。初期不良と認められる（オフィシャル判断）個体の交換は可能です。追加接着後のタイヤの交換は一切認められません。また初期接着不良以外の理由での交換は認められません。
●タイヤ接着エリアでは、瞬間接着剤による接着部分への補強、トレッド面のバリ取り、タイヤのクリーニングを行うことができます。
※接着面を剥がして再接着する行為・過度な瞬間接着剤の使用・タイヤショルダーを固くするなどの加工行為は禁止です。
●タイヤ接着エリアには、「ニッパー」、「瞬間接着剤」のみ持ち込むことが可能です。
※各種の持ち込みは、「裸の状態」、容器に入れる場合は「外から中身が容易に確認できる状態での持ち込み」のみ認められます。
※蓋付き金属缶などの収納容器は持ち込むことができません。
※ペーパーやすり、金属やすり、硬化促進剤やクリーナー、テープ類、はかり等を持ち込む事はできません。
●タイヤ接着エリアには「タミヤRCクリーナースプレー」、「硬化促進剤」、「マーカーペン（タイヤ識別用）」、「紙製ウエス（キムワイプ）」、「養生テープ※」が用意してあります。
●接着終了後はタイヤ回収用白箱にタイヤを入れ、オフィシャルスタッフにお渡しください（回収場所は当日案内します）。
●タイヤ回収箱の中には、「コントロールタイヤ」、「タイヤの袋」以外のものは一切入れることはできません。
●ピットにタイヤを持ち帰る事はできません。持ち帰ったタイヤはそれ以降のレースで使用できなくなりますのでご注意ください。
●その他、オフィシャル判断で使用不可のチェックを受けたタイヤは使用できません。



※養生テープ：「No.4100 青 P- カットテープα」
寺岡製作所

コントロールタイヤについて②

★追加購入、決勝Aメイン進出者追加購入について

●イベント中、コントロールタイヤを追加購入する場合は、再車検場にてタイヤとタイヤ引換券を受け取った後、北館販売コーナーにて代金のお支払いをしてください（配布上限セット数を超えての購入はできません）。
●タイヤの追加購入、代金の支払い時は「名札」（選手、アシスタント問わず）を必ず着用ください。
●決勝Aメインに進出した方は、4セット目のコントロールタイヤを購入することができます。購入は決勝の組み合わせが確定、公開されてから可能になります。購入方法は追加購入と同様になります。（代金の支払い忘れにはご注意ください）
●タイヤ配布後は、タイヤ接着エリアにて「追加接着」の作業が可能です。希望の場合はオフィシャルスタッフまで申し出ください。

★レース後のタイヤクリーニングについて

●レース終了後、タイヤの取り外しのタイミングでコントロールタイヤのクリーニングを行うことができます。
※コースマーシャル終了後に行うことも可能ですが、タイヤリペア（接着修繕作業）の回数にカウントされます。
●タミヤが用意する「RCクリーナースプレー」、「キムワイプ」、「養生テープ」を使用してください。
●養生テープを巻いたままの状態で、タイヤ返却は認められません（タイヤ保管箱にはタイヤ、タイヤ袋以外のものは入れられません）。
●タイヤリペア（接着修繕作業）が必要な場合は、タイヤ回収・クリーニング時にスタッフに申告してください（申告は選手のみ可能）。
マーシャル終了後迄に、タイヤ接着エリアにてタイヤ保管箱を用意します。
●タイヤクリーニング後は、速やかに「マーシャル待機エリア」にご移動ください。

★タイヤリペア（接着修繕作業）について

●コントロールタイヤへのリペア（接着修繕作業）は、**大会を通じて3回まで認められます**（混雑時には５分間の時間制限を設ける場合があります）。
●タイヤリペアは、レース終了後のタイヤ回収時に、選手による申告が必要です（名札へのチェックの為）。
作業はドライバー、アシスタントのどちらがおこなっても構いません。
●コントロールタイヤを追加購入した際の、追加接着作業はリペアの回数に含まれません。
●リペアについての詳細はP.16「タイヤへの追加接着・保管について」に準じます。

★コントロールタイヤについて（その他）

●タイヤを温める行為、機器の使用は、一切認められません。　※走行前にタイヤを路面に接触させて空転させる行為も禁止です。
ペナルティの対象、該当タイヤの使用禁止措置等を取る場合もあります。ご注意ください。
●グリップ剤、それに類するものは一切使用できません。使用が発覚した場合、今後タミヤに関連する全てのRCレースへの参加をご遠慮いただきます。
●タイヤセッターなどの使用や、路面・紙やすりなどでタイヤ表面等を削って整えるような行為は禁止です。
●タイヤセンター部分のバリ処理は認められます（ニッパーでのみの作業に限る）。但し、接地面までとし溝状に加工するのは禁止です。
●ホイールの着色は認められません。但し、タイヤ識別用のマーキング程度のものは認められます。
●タイヤの溝に対して追加加工（深掘りなど）を施す事は禁止です。
●追加接着、接着修繕作業時に瞬間接着剤がトレッド面まで達しているタイヤは使用できません（故意・過失問わず）。
●タイヤ回収時にタイヤチェックを行います。オフィシャル判断で使用不可のチェックを受けたタイヤは使用できません。
●タイヤ購入上限に達し、且つ使用可能タイヤが1台分以下（3個以下）になった時点で、以降レースには出走できません。

★コントロールタイヤ1台分の重量について

・ツーリングカータイヤ1台分（4個）【TRF/GT/St/Jr.】	： 約128g
・Mシャーシ用タイヤ1台分（4個）【XM】	： 約111g

●タイヤにより個体差や摩耗、瞬間接着剤による重量変化もございますので、あくまでも重量の目安としてお考えください。

その他注意事項①

★事前搬入について

●今大会は事前にピットエリアをオープンし、事前ピット展開、タイヤ受け取り（追加接着）、事前車検が受けられます。
大会当日（21日）は混み合うことが予想されますので、前日に事前車検、タイヤ受け取りまで済ませておくことをお勧めします。
●当日のスケジュールについてはP.02「大会スケジュール」をご確認ください。

〈日時〉 11月20日（金） 13:15 ～ 16:40 ••••• ピット展開、タイヤ受け取り（追加接着）、事前車検
11月21日（土） 7:30 ～ 7:55 ••••• ピット展開のみ

〈注意事項〉
・時間厳守でお願いいたします。
・下記入口から入場となります。並ぶ際は建物に沿って前後詰めて並んでください。



・選手、アシスタント以外の方は入場できません。（受付時に入口でチェックします）
・ピットエリア、タイヤ接着エリア以外のブースは立ち入り禁止です。
・各作業終了後は速やかにご退場ください。
・20日（金）はタミヤフェアの設営日となります。場内及び周辺では多くの車両が通りますので、事故等には十分ご注意ください。
・本大会は選手駐車場がございません。施設近隣の駐車場をご利用ください（付近の道路は駐車禁止となっています）。

★宅配便のご利用について

●公共交通機関利用でご参加される場合、RC機器等の荷物をタミヤへ送ることが可能です。**11月17日（火）まで（期限厳守）**に、下記宛までお送りください。但し、送料は自己負担となります。予めご了承ください。お送りいただいた荷物は事前搬入日の20日（金）に会場にお持ちします。
●ポータブル電源などは、各宅配便・宅急便業者の配送可否を必ず確認してください（発火・爆発の危険性がある物は受け付けられません）。
●輸送上に発生したトラブルに関しては、一切責任を負いかねます。梱包等には十分ご注意ください。
※ガラス製のセッティングボードなどは破損の可能性がありますので、十分ご注意ください。

★送り先

〒422-8610 静岡県静岡市駿河区恩田原3-7 株式会社タミヤ タミヤグランプリ係
「タミヤワールドチャンピオン決定戦2026 【※ご参加クラス】、【※お名前】」※必ず明記ください

※お問い合わせはタミヤグランプリ係まで TEL：054-283-0002 （8:00～12:00 13:00～17:00 土日祝除く）

●大会終了後も、宅配便お荷物のお取り扱いを行います（着払いのみ受付可能です）。
●お預かりした荷物は、翌々営業日までには発送します。
●着払い伝票のお荷物のみお預かりいたします。弊社発送の都合上、ご自身で用意された往復配送サービス等はご利用できません。
予めご了承ください。

★ツインメッセ静岡 特設コースについて

●新品パンチカーペットの特設サーキットになります（19.8m × 30.6m程）。大会期間中のみ会場に特設されます。
※路面等、特設サーキットに関するお問い合わせはご遠慮ください。
●コースのパンチカーペットの色はブラックです。

その他注意事項②

★ゼッケンステッカーについて

●ゼッケンステッカーを貼る位置について、本大会は「フロントウインドウ」と「ボディ両サイド」に統一させていただきます。
（下記写真参考）
●ゼッケンステッカーは加工せず、そのままお貼りください。
●決勝Aメインのゼッケンステッカーは専用のものを使用します。

★予選用ゼッケンステッカー【実寸サイズ（35mm × 45mm）】



★決勝用ゼッケンステッカー【実寸サイズ（直径60mm）】

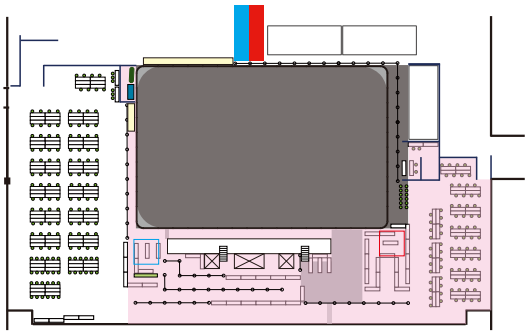


★貼り付け例



★動画撮影についての注意事項

●大会エリア内での動画撮影は、許可した範囲内でのみ認められます。下記に記される箇所での動画、写真撮影は禁止とさせていただきます。
・コース内（パイロンとバー・その他の仕切りで区切られたコース内側の部分）
・操縦台裏側の大会運営エリア（バッテリーチェックエリア～再車検場タイヤ接着エリア）※操縦台壇上での撮影は認められます。
●上記、右図のピンク色で塗られた部分では、三脚等での固定撮影を含む撮影もご遠慮ください。
●その他の場所での撮影は認められますが、他のお客様やオフィシャルスタッフが特定できる形で映り込んだ動画・画像を、SNS・動画投稿サイト等へ無断で公開する事はご遠慮ください。
●撮影・投稿の際は、プライバシー配慮と安全確保へのご配慮をお願いいたします。
●操縦台にて操縦しながらの録画行為は認められます。但し、配信行為は禁止です。さらに撮影媒体は、ご自身で身につけるタイプのみ認められます。
（撮影媒体を手すりに取り付けるなどの行為は禁止です）
●撮影の際は、お喋り等、他の選手の迷惑になると思われる行為はご遠慮ください。
●上記以外にも、オフィシャルスタッフの判断により撮影をご遠慮していただく場合があります。予めご了承ください。



★撮影禁止エリア
（ピンク色の網かけ部分での撮影はできません）
※会場レイアウトは暫定のものです。

その他注意事項③

★スペアパーツ、販売について

●会場北館の販売コーナーでは、一部RCスペアパーツの販売も行う予定ですが、全てのパーツを用意できる事はありません。必要なパーツは予めご自身にて準備しておくことをおすすめします。

●タミヤフェア会場では、「ワールドチャンピオン決定戦2026」限定デザインのピットタオルを販売する予定です。この機会にぜひお買い求めください。

★飲食・喫煙について

●大会期間中（20日を除く）飲食につきましては、会場内の売店をご利用ください。お弁当や飲み物等の販売を行います。

●会場内は禁酒、禁煙となっております。喫煙につきましてはツインメッセ静岡、所定の喫煙所にてお願いします。
（会場横の入口は、事前搬入終了後に通行禁止となります）

★その他

●会場内（大会エリア）には、タミヤRCクリーナー（87039）以外のスプレー類の持ち込みはできません。

●大会中いかなる場合においても、大声での発言や暴言、他の参加者・オフィシャルスタッフに対する威圧的な態度言動は禁止します。悪質な行為や、オフィシャルスタッフの指示に従わない場合は、大会・イベント会場からの退場、以降のレースへの参加をお断りする場合があります。

●体調が優れない、風邪のような症状が見られる方は、無理をせず参加をお控えください。また、会場にて体調不良が見受けられた方には、お声がけさせていただく場合があります。状況によっては参加をお断りする場合や、途中退場いただく場合もあります。

TAMIYA GRAND PRIX

TAMIYA WORLD CHAMPIONSHIPS 2026

TAMIYA GRAND PRIX
OFFICIAL R/C CAR RACE